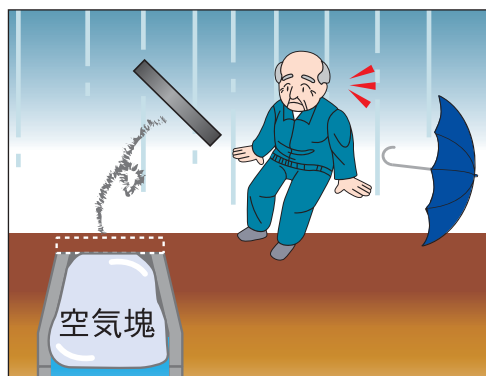


マンホールが凶器になる！

頻発する集中豪雨により管内の圧力が上がり、マンホールふたが浮上・飛散する事故が多発した結果・・・

(社)日本下水道協会「下水道用鑄鉄製マンホールふた (JISWAS G-4)」が改正されました。

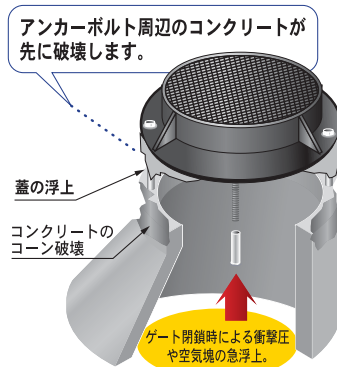
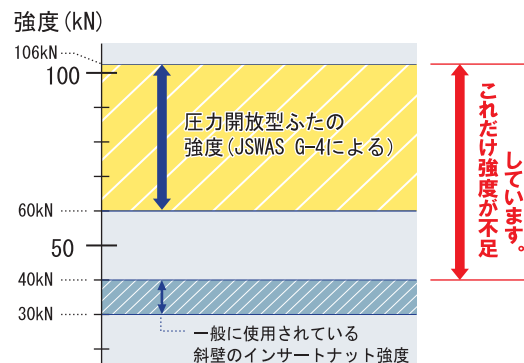
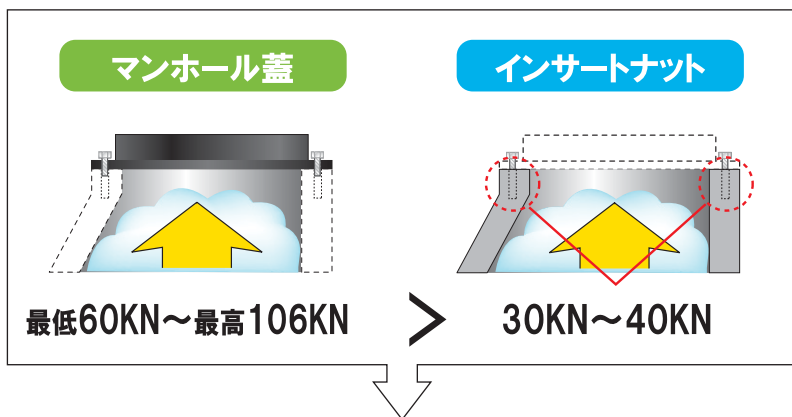
新たに圧力開放耐揚圧性能(一定の圧力まで、ふたの開放を防止できる機能、圧力開放型ふた)が規定されました。これによると、**マンホール内圧に対する強度は、最低60kN～最高106kNとなっています。**



原因:管内の急激な水位上昇、ポンプ場ゲート閉鎖による衝撃圧等

でも・・・

一般に使用されている斜壁(マンホールのコンクリート部)インサートナットの引抜強度は、30kN～40kN程度です。(固定用ボルト3本使用)これは、コンクリートの厚みが小さく、インサートナットが抜ける前に、コンクリート部分が破壊されるためです。



これでは受枠ごと蓋が浮上・飛散してしまいます。

そこで・・・

インサートナットをリングプレートで一体化し、飛躍的に引抜強度を向上させた、**マンホール鉄蓋の浮上・飛散防止機構**を開発しました！
(インサート引抜強度は、106kN以上)

